

伊賀市「事務事業評価」結果総括シート〔2次評価シート〕

(4)評価実施年度	平成 20 年度
-----------	----------

(1)政策	コード	名称
	24	(1)市内外を移動しやすいまちづくり

(5)評価責任者職名	企画振興部長
------------	--------

(6)評価責任者氏名	中嶋 孝
------------	------

(2)基本施策	コード	名称	(3)生活課題	49	市内への交通アクセス手段があり、地元から通勤通学ができる
	49	①広域的な道路・交通環境を整備する			

(7)評価者	
--------	--

(9)継続・新規 (20.21.22.23)	コード	(10)事務事業名	コード	(11)担当部課名	(12)事業費(千円)			(13)H21投入人員		主な成果(新規事業の場合は目標)	1次評価結果								
					H19 決算額	H20 予算額・補 正要求額	H21 要求 見込額	人	人件費		(14)指標名	指標の数値		(17) 指標の 単位	(18) 評価 類型	個別評価			
												(15) 19年度 (実績)	(16) 21年度 (目標)			(19) 必要性	(20) 有効性	(21) 達成度	(22) 効率性

2次評価									
(25) 1次評 価修正 有・無	(26)修正点	(27)修正の理由	(28) 改革改善 案修正の 有・無	(29) 修正点	(30) 優先 度区 分	(31) 方向 性	(32) 方向性の評価につ いて	(33)その他の改革 改善点について	

継続	104	鉄道網整備促進事業	040100	企画調整課	4,216	4,436	4,545	0.5	3,600	乗車券等販売 手数料等	1,518	1,550	千円	I	4	3	3	3	A	現状維持
継続	106	関西本線電化促進事業	040100	企画調整課	1,243	1,143	1,133	0.4	2,880	要望等活動回 数	4	4	回	I	4	2	3	3	C	現状維持
継続	108	伊賀線活性化促進	040100	企画調整課	47,008	54,695	99,600	0.5	3,600	経常損失額	△(300) ※	△280	百万円	I	4	3	4	3	A	拡大

					3G	c	佐那具駅運営業務に ついてコスト削減又は 取入増を進める。	草津線負担金は、今 後複線化への経費負 担を強いられる可能 性がある。関西本線との 優先度を検討する必 要がある。
					2G	b	現状のコストを維持 し、地道な活動を展開 する。	
					1G	a	老朽車両の更新に対 する支援を行い、利用 者の増進により伊賀 線の存続を図る。	伊賀鉄道運営補助は 債務負担行為経費